

図書館だより

9

月号

北名古屋市図書館
2025.9 発行



今月の特集

寄席の世界



おしらせ

コレ読! 認知症コーナー

9月は寄席の世界にタイムスリップ。江戸から続く落語は、欠点や失敗を含めて、人間のおかしさや陽気に生きるたくましが描かれています。古典落語を味わうもよし、エッセイや入門書で寄席の雰囲気を感じるもよし。秋の夜長に、本を通じて寄席の世界に触れてみませんか。

一般書



マンガでわかる落語
春風亭昇吉/著 谷端実/マンガ
誠文堂新光社

古典落語のあらすじをマンガで分かりやすく解説した、知識ゼロからの落語攻略本。寄席の楽しみ方や江戸切絵図で歩く落語の舞台なども収録。



美味しい落語
吉川潮/著
飯塚書店

落語には食べ物が多く出てくる。演芸評論家がどの演者のものが面白かったのか、演者自身の食べ物にまつわる思い出などを紹介する食にまつわるエッセイ集。



浮世絵と芸能で読む江戸の経済
櫻庭由紀子/著
笠間書院

経済成長と産業革命により、現代に通じる経済システムを築いた江戸260年余に渡る、幕府と庶民、下級武士たちの経済サバイバルを浮世絵や歌舞伎で表現した一冊。

児童書



まいどばかばかしいお笑いを
赤羽じゅんこ/作
フジタヒロミ/絵
講談社

おしゃべりが大好きな小学生の天音。女性落語家・若葉さんに稽古をつけてもらい、古典落語「転気失」にチャレンジするが、日本文化について物語を通して理解を深める一冊。



落語ってなんだ!?
今岡謙太郎/著
ほるぷ出版

面白い話を披露して観客を楽しませる話芸である落語の魅力を、衣装、小道具、動き(しぐさ)に加えて人気の演目のあらすじなどを、写真やイラストとともにわかりやすく紹介。



千両みかん
もといたいづみ/文 長谷川義史/絵
フレーベル館

暑い夏。大店の若旦那が、みかんが食べたくて病気になるってしまい番頭さんが探し回る。だが、みかんは冬の果物で…。上方落語の名作をもとにした絵本。

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。そこで、図書館では認知症に関する資料やチラシを排架した特集コーナーを設置しました。場所は受付カウンター前。オレンジ色ののぼり旗が目印です。展示期間：9月3日(水曜日)～28日(日曜日)

日	月	火	水	木	金	土
8/31	1 休館日	2 休館日	3	4	5	6 どよう日の 図書館
7	8 休館日	9	10	11	12	13 どよう日の 図書館
14	15	16 休館日	17	18	19	20 どよう日の 図書館
21 サンデー ロードショー	22 休館日	23	24	25	26	27 どよう日の 図書館
28	29 休館日	30 休館日	10/1	2	3	4



どよう日の図書館 1階お話しコーナー / 午前11時から

おはなし会

6日(土) たからばこ
13日(土) チームわたあめ(図書館員)
20日(土) 朗読クラブ いっぽ
27日(土) おはなしグループ コキユボット



サンデーロードショー 2階視聴覚室 / 午後1時30分から

「天と地と」

21日(日) 邦画 119分
のちに上杉謙信と名乗る越後領主の長尾景虎の半生と、甲斐の国の宿敵である武田信玄との川中島合戦の死闘を描いた戦国ロマン。海音寺潮五郎の同名小説を原作に、角川映画の角川春樹が自らメガホンを握り制作したスpektakul時代劇超大作。